

H M 講習

今年度第7回ヘリテ

シマナーシャール育成講習会がこのほど、福島市の御倉邸(旧日本銀行福島支店長役宅)で開かれた。稲垣智也文化庁文化財部参事官(建造物担当)登録部門文部科学技官を講師に、「文化財建造物の保存と活用」「登録有形文化財制度と準備」について講義を受けた。受講生を5班に分け、御倉邸の保存活用例をテーマにワークショップを実施した。受講生からは世代間交流の場とするため市公園の縛りを外し飲食を



ワークショップでの成果を発表する受講生(上)と御倉邸

用できる木造に触れることで建物に対する意識を変えたい。県庁へ船着場も含めた物語を表す仕掛けを作りサイン、茶屋の充実を「付近には福島城を基点に寺が多いが、これらを理解できる町並みになっていない。御倉邸を登録文化財として町の起爆剤に」などの意見が出された。稲垣氏は「場所性もあるが、御倉邸という建築物そのものに焦点を当てた考察もほしい」と総括した。

「文化財制度と準備」に、御倉邸という建築物そのものに焦点を当てた考察もほしい」と総括した。御倉邸の保存活用例をテーマにワークショップを実施した。受講生からは世代間交流の場とするため市公園の縛りを外し飲食を

御倉邸活用策でWS

稲垣文化庁技官が講師 登録文化財制度学ぶ

財は当該所有者に勧告・命令しか下せない点にある。固定資産税に基づく算定を行う都市計画税も減額される。また、滅失、毀損、現状変更(移築や通常増見できる範囲の1/4超の変更)、所有者変更には届出が必要。維持や応急の措置は含まない。

「通常増見」には、周りに見える外壁や屋根などが該当し、内部改修や他の建築物で見えない場合は含まれない。雨どい、空調などの設備設置を行うことが、これら期

登録有形文化財は、保存と活用のための措置が特に必要なものを所有者らが具申することが必要で、一定の基準を満たすことで登録される。修繕のための補助は修理と付属設備設置改修工事にかかる設計監理の50%のみ。優遇措置として相続財産評価額を3/10控除、家屋の固定資産税を1/2減税(これに伴

に届出はいらぬが、屋根の形や勾配、素材変更は場合によって届けが必要となる。登録の抹消は「保存活用のための措置を講じる必要がなくなった場合」「その他特殊な事由」の場合のみ。災害や建て替えによる構造・形式の大幅な変更などが挙げられるが、自己都合や耐震性不足だけでは特殊事由には当たらず、当該建築物



講師の稲垣氏

東日本大震災では、歴史的建造物が、応急危険度判定により「危険」と判断されたことが、解体につながった例も多いが、文化庁では発災3週間後の23年4月7日、都道府県教育委員会宛てに国土交通省に照会した同制度の目的を通知。「余震などによる2次の被害を防止するため、倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下などの危険性を判断するものであり、一律かつ即座に取り壊しを求めるとはならない」とする回答を示したが、十分に届かなかった。このため静岡県建築士会(ヘリテリセンター)SHEC)では、応急危険度判定の際に「歴史的かつ文化的に価値の高い貴重な建築物」であることを示し、修理修復の際

の連絡先を記載した用紙も判定とともに被災建築物に掲示し、滅失を防ぐ仕組みづくりをしているという。登録有形文化財の修理には「Authenticity(真実性)の保持」という大原則があり、①意匠②材質③構法④環境のそれぞれに真実性が必要となる。法隆寺を世界遺産に登録する際に、保存修理の方法で議論となったが、奈良会議(奈良ドキュメント)での厳格な真実性の運用から、「文化・社会は固有の形式と手法に根ざし、尊重すべき」としたStatement(多様性の概念を取り入れられ木造建築の特殊性が認められ、法隆寺は世界遺産となった。文化財修理は丁寧な解体と解体に伴う十分な調査が必要で、(これも)真実性が大前提」となるため、新規の技術や材料の使用は慎重を期す。仏像に防炎処理の薬剤を塗布する例があるが、2000年後にどうなるかは分からない。昭和30年代には修理の材料に樹脂が流行したが現在、剥落も見られることもあり最先端の材料使用には慎重を重ねる。逆に古臭いやり方や技術は、歴史があるからこそ安心となる。現在の技術では難しい一角で現在も蔵を利用した店、住宅が往時をしのばせる。役宅は純和風建築で木造平屋、寄棟瓦葺。26畳の大広間にもなる和室と生活スペースの8畳2間、4畳半1間、洋室1室が市民に廉価で貸し出されている。このほか倉庫、書庫、応接室、和室2部屋などがある。当時の迎賓館的な役割を担っており、来賓は玄関から中庭を見ながら廊下を渡り、川に面した大広間に通したとみられる。ここからは弁天橋付近から大きく弓なりに右折する阿武隈川が望める。手作りのガラス製戸や竹製の襖、電灯、猫間障子、電話などが当時を偲ばせる。平成12年に福島市が取得し、都市公園(御倉町地区公園)として開園した。敷地内には旧米沢藩米蔵、川には船着場も整備している。